

平成 27 年 2 月 16 日

和歌山県テニス協会

2015 第 70 回国民体育大会〔2015 紀の国わかやま国体〕 テニス競技 和歌山県 1 次予選 開催要項

下記要項にて開催しますので奮ってご出場下さいますようご案内します。

日 時： 4 月 4 日(土)・5 日(日)

会 場： かわべテニス公園

主 催： 和歌山県テニス協会

種 目： 成年男子シングルス、成年女子シングルス

試合方法： 全て 8 ゲームプロセット(8 オールタイブレーク)〔セミアドバンテージ方式〕のトーナメント方式とする。

※但し、試合進行状況により日程及び試合方法を変更する場合やナイター照明を使用する場合がある。

使用球： ダンロップ フォート

審 判： **セルフジャッジ**

(審判経験を積むため、SCU が審判台に乗ることがあります。)

参加料： **1 単位 ¥4,500-**

参加資格： オープン(但し、国体に成年種別で和歌山県代表として出場する資格を有している者に限る)

申込期日： **3月13日(金)必着**

ドロ-会議： 3 月 17 日(火)にドロ-会議を行います。

申込方法： ①郵便振替にて参加料を入金する。

【振込先】郵便振込口座 00900-0-308354

口 座 名 義 和歌山県テニス協会

②申込用紙と**振込票(領収書)**を下記和歌山県テニス協会宛に郵送のこと。

(申込用紙には必要項目を全て記入して下さい。)

〒640-8239 和歌山市上町99

島本久仁 気付 和歌山県テニス協会

注意)仮ドロ-が必要な場合は返信用封筒(長形3号120*235ミリ/92円切手貼り付)同封のこと。

返信用封筒がない場合、仮ドロ-は郵送いたしません。

※ 尚、ドロ-は和歌山県テニス協会ホームページにも掲示します。

申込用紙と振込票(領収書)を正しく郵送する場合は、個人からの申し込みも可。

そ の 他： 本大会は、個人情報保護法に基づいて運営を行います。

参加者が4名以下の場合、すべての選手に国体最終予選の出場資格を与え、試合は行わず、エントリー代は返金しないものとします。

※本大会は国体予選です。以下の点を留意のこと。

I 本大会ベスト4の入賞者及び県協会推薦者は4月11日(土)、12日(日)に開催予定の国体最終予選会で順位を決め、和歌山県代表者を決定する。

II 平成27年度の国体最終予選に推薦される選手は以下の選手です。

男子：長尾克己、奥 大賢、菊本一輝、土井俊範、武内直人、東 裕介、梶川文也、

村田海人、長田圭司、伊賀秀樹、仁坂拓未、楠部佑真

女子：川崎好美、中野佑美、松田七菜子、大谷茉莉子、竹村育子、中井佳代子、木下真美子

金川美早紀、塚本茉暉

但し、今年度の大学生の推薦は最終予選の日程が早いいため平成26年度の春夏の地域大会の本戦出場者とします。

III 国体最終予選会の男子・女子の各上位2名が国体出場権を得る。

IV 県代表に選ばれた者は9/27(日)～9/30(水)に和歌山県で開催される2015 紀の国わかやま国体に和歌山県選手団(テニス競技)として出場すること。

V 国体県代表になるための条件(成年男子・成年女子)(抜粋)

1 参加資格

ア 日本国に国籍を有する者であること

イ 前回の大会(都道府県大会を含む)に選手及び監督で参加した者が異なる都道府県から参加する
場合については2大会以上の間を置かなければならない。ただし、次の場合は該当しないこととする。

(ア) 成年種別

ア) 新卒業者

イ) 結婚又は離婚に係る者

2 選手の年齢基準及び所属都道府県の条件

(1) 年齢基準

成年に参加する者は、大会開催年の4月1日時において18歳以上の者とする。

(2) 所属都道府県

ア 居住地を示す現住所

イ 勤務地

ウ ふるさと(成年種別のみ)

※ア又はイが属する都道府県から参加する場合は、大会開催年の4月30日以前から大会参加時まで引き続き当該地にそれぞれ居住又は勤務又、在学していること。

ただし、成年種別の参加者が属する都道府県として「ふるさと」を選択する場合は、この限りではない。

国民体育大会最終予選 出場推薦選手基準

和歌山県テニス協会 国体委員会

【抜粋】

(成年種別)

- ・ 国民体育大会及びブロック大会の①参加資格、②選手の年齢基準及び所属都道府県の条件を満たすもの
- ・ 国民体育大会和歌山県1次予選 ベスト4の選手
- ・ 前年度和歌山県テニス協会ポイントランキング(4月1日現在) 4位以上の選手
- ・ 国体出場資格がある大学生で、過去1年間(前年の夏季大会から当該年度の春季大会まで)の全日本学生(インカレ)・全日本学生室内・各地域学生テニス選手権(新進テニストーナメントは除く)においてシングルス本戦出場以上の戦績がある選手。(必要に応じ、ふるさと選手登録を行う。)ここで本選出場選手とは予選を勝ちあがった選手とし、L.L.として本選に出場した選手は除外する。(ただし、L.L.で本戦1R勝者を除く。)またこの基準で選考し、国体最終予選参加者が8名に満たない場合は【各地域学生ダブルスの本選出場選手】を追加する。
- ・ 前年全日本ジュニア(8月中旬開催)終了時点で、和歌山県ジュニアポイントランキング18歳以下シングルス1位・2位の選手
- ・ 前年度国民体育大会の和歌山県代表選手
- ・ 上記以外で和歌山県テニス協会国体委員会が推薦する選手

補則

(成年種別)

- ・ 国民体育大会最終予選推薦者の中で、必要な選手には「ふるさと選手登録」を行う。